

編集後記

◇ 新たな年を迎え、読者の皆様の本年のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、1月号では特集として「いも類の新品種紹介」を掲載するのを恒例としており、本号No.146においても新たに品種登録の出願公表がなされたもの5品種について、それぞれの育成者等に解説頂いた。サツマイモでは「あかねみのり」及び「ほしあかね」（次世代作物研究センター）、「ちゅらかなさ」（九州沖縄農業研究センター）が育成され、ジャガイモでは「フリア」及び「しんせい」（北海道農業研究センター等）が育成されている。

この中で、特に「フリア」は北海道で緊急な対策が迫られている“ジャガイモシロシストセンチュウ”の国内初の抵抗性品種である。また、「あかねみのり」及び「ほしあかね」は農研機構生研支援センターの援助を受けた「イノベーション創出強化研究推進事業」で育成された品種である。これらいずれの品種も、早急な普及が期待されているところである。

◇ 現在、当振興会に於いては、機関誌「いも類振興情報」として発行されたバックナンバーに掲載された記事について、閲覧を可能とするシステム開発を進めている。これまで「いも類振興情報」は本号で146号が発行されて来ており膨大な貴重な記事が蓄積されているが、これを簡便に閲覧できるようにしようというものである。検討されているシステム概要は、いも類振興会のサイトから本誌の印刷会社である（株）丸井工文社のサーバーにリンクし、「いも類振興情報」の総目次にアクセスし、総目次の希望記事名をクリックすれば当該記事のPDFが表示されるシステムとしたいと考えている。なお、記事検索機能も可能とする予定である。ただ、当面は予算の都合等もあり、「いも類振興情報」100号から閲覧可能とする予定である。早期の完成を期待頂きたい。

◇ サツマイモの輸出が好調である。2019年の輸出実績は、16.9億円（FOB）に達し、2014年の輸出実績3.8億円と比較し5年で4.5倍に達している。輸出仕向け先国は、香港、シンガポールが約8割を占めるが、近年、タイ、マレーシア等の東南アジア向けが拡大している。また、金額は少ないがカナダや英国なども輸出先国に広がってきている。

しかしながら、栄養繁殖作物であるサツマイモは、生イモから容易に増殖ができ、「べにはるか」などの人気品種の現地での無断増殖の可能性が心配されている。こうした動きに対処しながら輸出を増やしていきたいものである。

（鈴木 昭二）

いも類振興情報 第146号

2021(令和3)年1月15日発行

定価 1部 500円

年間購読料(季刊) 2,000円

発行 一般財団法人 いも類振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303

TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225

E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp

郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社